

記事 1. 「平成26年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催と公募開始

1. 「平成26年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催と公募開始

平成26年度エコレールラインプロジェクト事業の説明会を4月8日(火)に日本地下鉄協会会議室で開催し、15地下鉄事業者29名が参加しました。

本事業は、環境省から二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付を受けた基金補助事業者(一般社団法人 低炭素社会創出促進協会)が駅等の施設への省エネ設備の導入や鉄道車両の省エネ化を進める鉄・軌道事業者に対して、事業費の1/3を補助するもので、鉄・軌道分野における温室効果ガス排出量の削減を目的とする事業です。平成26年度の予算額は低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援基金94億円の内数となっております。

また、事業初年度となった平成25年度の一次公募の採択状況は、JR、大手民鉄、地下鉄等の鉄・軌道事業者から合計64件の応募があり、52件が採択されていますが、このうち地下鉄事業者の採択件数は19件でした。

今回の説明会は、国土交通省鉄道局から高乗圭一駅機能高度化推進室長、大島輸送障害対策推進官を講師に迎え、昨年度との変更点を中心に説明していただきました。



高乗室長による説明



熱心に質問する出席者

主要な説明の内容については、

- ①平成26年度の募集期間は、4月8日から5月12日であり、公募要領等と併せて低炭素社会創出促進協会のホームページに4月8日にアップされます。
- ②募集の締切り日から補助金の交付決定までの期間は、昨年度より短くなります。

③平成 26 年度から、複数年度事業の複数年度一括契約が認められ、翌年度以降は優先して採択(翌年度以降の応募は基本的には無し)されます。ただし、補助金の交付申請は単年度ごとに行う必要があります。

④平成 26 年度からは、ファイナンスリースも補助対象とします。

⑤本年度も二次公募があるかは、一次公募で予算に残余が出るかの状況によります。

⑥LED 照明及び空調等汎用設備の導入は、格付け投資情報センター、日本格付け研究所の評価がともに A 以上となっている会社は対象から除きます。

講師による説明の後に、地下鉄事業者からの事前に頂いた質問への回答や当日の説明に対する疑問点に講師から丁寧な回答を頂き、終了いたしました。

当協会としては、平成 26 年度においても地下鉄事業者が引き続き本事業を積極的に活用され、更なる省エネルギー化を推進されることを期待しております。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： mukaida@jametro.or.jp